

平成 24 年 4 月 25 日

看護系学会等社会保険連合加盟学会各位

看護系学会等社会保険連合

代表 井部 俊子

診療報酬の適正評価のための看護ケア技術体系化に向けた研究

研究代表者 山田 雅子

### 看護ケア技術のリストアップ（一次調査）のお願い

時下 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本会の活動に対しまして、格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本会では、国民の健康の向上に寄与するために、科学的・学術的根拠に基づいて、看護の立場からわが国の社会保険の在り方を提言し、診療報酬体系および介護報酬体系等の評価・充実・適正化を促進することを目的に活動しています。現在の診療報酬における入院基本料は看護師の人員配置を中心にした体制評価であり、実際に提供されている看護の質を正確に反映したものとはいえ、患者・国民にとっても不明瞭な制度だといえます。そのため、看護の専門的知識・技術が必要とされる各ケア技術に対する独立した看護の評価体系の確立が必要だと考えます。

そこで本会では、診療報酬の適正評価を行うために、専門性の高い知識と技術が必要とされる「看護ケア技術」を抽出し、技術難易度・アウトカム・医療費原価等の評価指標を用いた「看護ケア技術」の価値に基づく体系化を行う研究を実施することにいたしました。本研究により、看護ケア技術の価値の適正な評価が可能となり、効果的・効率的な看護の提供や、適正な医療・看護資源の配分に貢献することができると考えます。

つきましては第一次調査として、誰が見ても専門性の高い知識と技術が必要であると理解される「看護ケア技術」を抽出するための調査を実施いたします。貴学会におかれましては、主旨をご理解頂き、該当する看護ケア技術をご提案くださいますようお願い申し上げます。

なお、本研究は平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）の助成による「診療報酬の適正評価のための看護ケア技術体系化に向けた研究（研究代表者：山田雅子、課題番号：H24-政策一般-011）」と協働して実施する予定です。

別添 1 をご参考のうえ、別添 2 の調査票にご記入いただき、**8月31日（金）までに**事務局にメールにてご返信下さい。

ご不明な点等がございましたら看保連事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

看護系学会等社会保険連合 事務局

小野田、浅田

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

日本看護協会ビル 4 階

TEL 03-3409-1569 FAX 03-3409-1574

e-mail : [info@kanhoren.jp](mailto:info@kanhoren.jp)